



診療放射線技師 学生団体URTS 代表

稲森瑠星

挨拶

初めまして。診療放射線技師学生団体の代表を務めております、稲森瑠星と申します。

現在、東北大学大学院医学系研究科画像診断学分野 修士2年の学生であり、医療AIの研究をしております。

今回は、私が代表をしている診療放射線技師学生団体URTSの紹介を通して、学生の活動や今後の診療放射線技師を担う若手の思いをお伝えします。

URTSとは

URTSは、**United of Radiological Technologist Studentsの略で、URTS(アーツ)**と読みます。ぜひ、この機会に名前も覚えていただけると嬉しいです。

URTSは、2021年の10月に代表の稲森と診療放射線技師100人カイギ発起人の熊谷さんの2人で立ち上げた団体で、活動を始めて約1年半ほどになります。

新型コロナウイルスの流行により、学生生活も大幅に制限を受け、オンライン授業が当たり前になり多くの学生が、情報を上手く得られない不安の中、学生生活や就職活動、病院実習を送ってきました。熊谷さんも、丁度コロナの時期に学部4年生で将来の進路について悩み、情報を得にくい状況をどうにかしたい！という思いもあり、一緒にURTSを立ち上げるお手伝いをして頂きました。また、**全ての学生に平等に幅広い機会と選択肢を与えることで学生がより活躍できる場所をつくりたいと**

考え立ち上げた団体になります。

— 由来 —

芸術のArtとURTSの読み方を掛け合わせて、クリエイティブな発想(枠組みにとられない自由な発想)により視野を広げ、学生から診療放射線技師全体を盛り上げていきたいという思いが込められています。

— CONCEPT —

「学生が将来のキャリアについて考え自分軸を見つける」

学生にとって、進路の選択は人生の大きな選択の一つ、人生の中で大きなイベントの一つともいえます。進路や将来のキャリアの選択は、大学生でも自分のやりたい事やなりたいたいものを見つけるのは決して簡単なことではありません。そんな中、診療放射線技師に興味を持ち、将来は診療放射線技師になりたいと専門学校や大学へ進路を決めています。

しかし、少し見方を変えてみると選択肢が狭まっているとも捉えられるかもしれません。診療放射線技師になる事はできる、でも診療放射線技師になって病院で働くのが当たり前。そんな風に思っている学生も多いのではないのでしょうか。以前に比べると大学院への進学や企業への就職を考える学生も増えてきてはいますが、学校によってはこうした選択肢がない学校もあります。

そこで、URTSでは学生のうちから**様々な働き方や将来のキャリアの選択肢を学ぶことで、視野を広げ自分の将来のキャリア選択を後悔しない選択にして欲しい**と考えています。

病院で働くだけではなく、企業や大学院への進学、海外での